

山歩きの会「遊山会」日記

毛利成志

今年も又、山歩きのシーズンが訪れました。我が「遊山会」、冬の間は月山にてスノーシュートレッキング、あるいは茨城県に遠征して日本三名爆の一つ「袋田の滝」を見ながらその真上に聳える「月居山」に登り体力維持に努めておりましたが、いよいよシーズンを迎え、4月の例会は岩手県遠野市の北東方面に聳える「六角牛山(ろっこうしさん)(1294m)」東北百名山の一座に登ることになりました。

仙台を6:30 にマイクロバスにて出発。3時間半掛けて遠野市にある登山口に到着。今年東北北三県は春の訪れが遅く、この地区も昨日うっすらと雪が降ったとのことで道々の北斜面がうっすらと白くなっている。

不安を抱きながらも林道には雪は無く難なく登山口へ。

今回は登り2時間のコースということで足弱の石川さんも参加したが7合目の急登で難渋の様子。何度も休憩を取りながらもなんとか付いてくる。9合目からは登山道に雪が残っており笹の葉っぱに雪が付いており、先頭の小生は露払いならぬ雪払いをしながらの前進だ。この辺から頂上までは低い灌木の枝に霧氷が付着して何とも幻想的な景色を醸し出している。

“今日も来て良かったなー”と思える瞬間だ。

頂上には祠があり、霊山を思わせる。はるかに南東方面を見渡せば来月登る五葉山が望める。北方面には早池峰山が見えるはずだがちょっと分からない。それでも北上山地の雄大な山並みに圧倒される。

さすがに寒い。頂上のすぐ下にガタガタながらもなんとか寒さをしのげる小屋があり、13名ぎりぎり入ることが出来、食事タイム。“寒い寒い”の連発に、早々に食事を終え、帰途に就く。

帰りは実に早い人がいて、こちらは石川さんのペースに合わせて下りているので、結果的には30～40分も我々が下りてくるのを待っていたとのこと。

山登りの後は温泉が欠かせない。公共の宿泊施設「たかむろ水光園」で汗を流し帰路についた。

今年の「遊山会」の予定は「和賀岳」「飯豊山」「至仏山」など健脚を試される山が控えている。もっと鍛えて頑張らなければ！！

※日記は昨年のものですが季節感を出す為、今回まで温めていました。(編集者)